

若林地区意見交換概要

日時 平成 26 年6月 12 日(木)

場所 若林公民館

出席 56 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
14-1	保育所統廃合の考えはあるのか。	保育所のあり方検討会で、民営化すべき保育所は石動西部、津沢、藪波。統合すべきは若林、正得、荒川、松沢。東蟹谷、北蟹谷。現状維持は石動東部、水島、埴生の答申。若林が統合するとなると新しく大きな保育所が必要だが、財源等の問題もあり当面はこのまま。
14-2	ハトムギ学校給食でも使用してもらっている。小矢部市は全国の3分の1生産しているのもっとPRしてほしい。ただ、氷見と比べても買い取り価格に差があるので生産者は厳しい。各種団体に活用を研究したり、行政も協力して取り組んでほしい。	市の貴重な財産だと思っている。アウトレットは女性客が中心なので、美容や健康にも有効なハトムギは、しっかりと売り込んでいきたい。活用についてご指導いただきたい。
14-3	定住促進助成100万円の効果はどうか。	転入者は660人ほどあり効果はあると捉えている。ただ、転出者も多いので全体の数字としては表れていない。アパート助成の評判がいい。引き続き情報を発信していきたい。
14-4	若林地区は平成11年から無火災が続いている。私設消防隊が貢献していると考えているが、器具置場についても助成を検討してほしい。	ホースは今年度から助成をしている。その他のものについても助成していく方向で考えているので要望いただきたい。
14-5	市内転居の場合は助成があるのか。	20万円の助成がある。もともと転入を増やすための施策で、将来的には、見直す時期も来るとしている。
14-6	空き家を活用した場合に助成してはどうか。転出を減らすことも重要だ。	参考にしたい。定住施策に関しては、住宅助成だけでなく子育て環境の充実などの住み良さにも着目してほしい。
14-7	耕作放棄地をなくそうという活動をしている。アウトレット周辺の開発が進むと思うが、商業地域と農地をしっかりと分けて計画してほしい。中途半端な農地は利用しにくく耕作放棄地になりがち。	耕作放棄地解消について市でできることは実施していきたい。持ち帰って協議したい。

No.	発言要旨	市長回答要旨
14-8	耕作放棄地をなくそうという活動をしている。アウトレット周辺の開発が進むと思うが、商業地域と農地をしっかりと分けて計画してほしい。中途半端な農地は利用しにくく耕作放棄地になりがち。	耕作放棄地解消について市でできることは実施していきたい。持ち帰って協議したい。
14-9	若者の定住に関連してだが、企業誘致の予定などはあるのか。	企業誘致については県の企業立地セミナーほか各方面で活動している。事例としてはリクシルの100億ほどの投資があったところ。今後もトップセールスで誘致活動に努めていく。
14-10	元々市外出身の人(現在市内在住)が市内で中古住宅を購入した場合は、定住助成(100万円)が出るのか。	現状市内にお住まいであれば、20万円助成の対象と思われる。色々なケースがあり、どこかで線引きが必要になってくる。